



今年度、市民一人あたりに使われる予算は 29 万 4,610 円

市民一人当たりの予算が、どのようなものに使われるのか、その内訳を目的別に紹介します

民生費 82,185 円 	土木費 51,576 円 	総務費 39,347 円 
衛生費 26,960 円 	教育費 23,050 円 	商工費 14,228 円 
消防費 9,534 円 	農林業費 8,515 円 	議会費 3,093 円 

公債費 35,888 円 その他 234 円 ※市民一人当たりの歳出額は、平成 21 年 3 月 1 日現在の人口で計算しています

特別会計予算、水道事業会計予算

特別会計とは、一般会計と分けて設置する特定の事業に関する会計で、水道事業会計は利用料などの収入で運営する会計です

(単位：万円 %)

会 計 名		平成 21 年度	平成 20 年度	差引増減額	増減率
一 般 会 計		163 億 6,000	168 億 8,000	△ 5 億 2,000	△ 3. 1
特 別 会 計	国民健康保険会計	49 億 3,834	47 億 6,417	1 億 7,417	3. 7
	老人保健会計	476	3 億 3,900	△ 3 億 3,424	△ 98. 6
	介護保険会計	26 億 8,633	24 億 4,028	2 億 4,605	10. 1
	後期高齢者医療会計	4 億 2,160	3 億 9,848	2,312	5. 8
	下水道事業会計	41 億 2,983	36 億 695	5 億 2,288	14. 5
	介護認定・障がい者 自立支援認定審査会計	3,967	4,114	△ 147	△ 3. 6
	計	122 億 2,053	115 億 9,002	6 億 3,051	5. 4
水 道 事 業 会 計		20 億 7,306	21 億 2,901	△ 5,595	△ 2. 6
合 計		306 億 5,359	305 億 9,903	5,456	0. 2

水道事業会計を除く特別会計(6 会計)の予算額は、平成 20 年度に後期高齢者医療会計が創設されたことにより老人保健会計は減少しましたが、特別会計全体では、下水道事業会計の公債費が増加したことなどにより、前年度と比べて 5.4% 増の 122 億 2,053 万円となりました。

水道事業会計は、森山浄水場改築工事も周辺整備を残すだけとなり、21 年度末に完了する予定です。給水は、20 年 4 月から開始しており、今後も老朽管対策など安心・安全で安定した給水に努めます。

持続可能な「健康都市」の実現に向けて

市民の皆さんの心と体の健康とともに、財政面においても健康を目指し、市債残高の削減に努めています

市債残高(市の借金)の増加は、公債費(借金の返済に要するお金)を増加させ、財政構造に余裕がなくなります。その結果、福祉、土木、教育などに使えるお金が少なくなります。

市では、引き続き、新たな借入については、道路や下水道など現在の社会資本の整備状況と、将来の負担とのバランスを考えながら、中長期的な視点に立って公債費の適正化に努めます。

市債残高の推移	
平成 17 年度	474 億 5,243 万円
平成 18 年度	474 億 520 万円
平成 19 年度	461 億 3,136 万円
平成 20 年度	455 億 548 万円
平成 21 年度	439 億 4,974 万円

※市債残高は、一般会計、特別会計、水道事業会計の合計額です

※平成 17 年度～ 19 年度は決算額、平成 20 年度と 21 年度は見込み額です

交流のさかんな「産業経済」のまちづくり

勤労者支援・商工業、観光・交流、農林業



- ▶ **まちづくり交付金事業** ————— 5 億 2,300 万円
 - ・中蜂屋地区の産業集積地区開発事業 など (写真)
- ▶ **工場誘致事業** ————— 2 億 521 万円
 - ・工場を新設、増移設した人に、固定資産税相当分を奨励処置
 - ・工場を新設するなどした事業者が、市内従業員 10 人以上を雇用した場合に一人につき 5 万円を交付し、雇用の創出を図る



- ▶ **太田宿中山道会館運営事業** ————— 1,443 万円
 - ・観光資源である中山道会館を通じ、交流促進と地域おこしを行う (写真)
- ▶ **美濃加茂観光 P R 事業** ————— 905 万円
 - ・観光案内所運営委託 ・御殿山キャンプ場管理委託
 - ・観光パンフレット作成 ・市内観光誘客事業などの開催
 - ・中山道会館・日本昭和村でのイベント開催 など



- ▶ **ぎふクリーン農業生産流通総合整備事業** ————— 322 万円
 - ・農産物の生産性向上と流通販売の合理化を図るため、施設などに補助 (写真)
- ▶ **木曽川右岸施設緊急改築事業負担金** 新規事業 ————— 1,546 万円
 - ・老朽化した木曽川右岸用水施設などの一部改修に対する負担金
- ▶ **担い手総合支援事業** ————— 55 万円
 - ・担い手総合支援協議会による担い手育成と、集落営農支援・指導体制の強化

みんなでつくる「市民参加」のまちづくり

市民参加、行政システム改革、多文化共生



- ▶ **国際交流推進事業** ————— 240 万円
 - ・国際交流事業の委託 (青少年海外派遣および市民交流) (写真)
- ▶ **市民活動支援事業** ————— 78 万円
 - ・市民団体などが自主的に行う地域活性化事業などに対する支援
- ▶ **市民活動推進事業** ————— 283 万円
 - ・市民のボランティア活動を支援



- ▶ **多文化共生事業** ————— 1,631 万円
 - ・外国人児童生徒の放課後学習支援事業
 - ・地域コミュニティ育成のための研修会の開催
 - ・国際交流員の配置 (写真) ・多文化共生シンポジウムなどの開催
- ▶ **ダボ市姉妹都市 20 周年記念事業** 新規事業 ————— 80 万円
 - ・ダボ市との姉妹都市提携 20 周年を記念し、記念事業を開催



- ▶ **第 5 次総合計画策定事業** ————— 656 万円
 - ・平成 20 年度より進めてきた、第 5 次総合計画の策定 (写真)
- ▶ **eL-Tax(地方税の電子申告)事業** 新規事業 ————— 1,119 万円
 - ・地方税電子化協議会に加入し、電子申告の普及維持などを行う環境を整備
- ▶ **選挙公報配布事業** 新規事業 ————— 20 万円
 - ・次の市長選挙から、新聞折り込みにより選挙公報を配布する

平成 21 年度年度予算について、皆さんのご意見ご感想をお寄せください

問
財政経営課
内線 433

E-mail
zaisei@city.minokamo.lg.jp